

緑のセンターだより

NO.127 平成21年10月1日発行

発行元: (財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

ユリノキ

Liriodendron tulipifera モクレン科 ユリノキ属

ユリノキ属は氷河時代以前の北半球に広く分布していたもので、今日、16 種が化石として発見されているそうです。氷河の襲来によって死滅し、北アメリカとアジアに1種づつが生き残ったといわれています。

属名の *Liriodendron* はギリシャ語の *leirion*(百合)と *dendron*(樹)に由来し、花がユリに似ていることに由来しています。しかし、むしろ種小名 *tulipifera*(チューリップの花)にもあるように、チューリップに似た花をつけ、英名ではチューリップ・ツリーと呼ばれています。

ユリノキは北アメリカのミシシッピより東、北はマサチューセッツから南はフロリダにかけて分布しています。成長は早く、自生地では、高さ 60m、幹の直径 3m にも達する落葉大高木となります。幹は、垂直に立ち上がり、樹形は円錐形で、風格のある雄大な樹木です。アメリカインディアンはこの木でカヌーを作ったそうです。新梢の葉の基部に2個の小さな托葉(葉柄が茎・枝についている部分にある、葉の形をしたもの)がよく目立ちますが、後で脱落し、枝を取り巻く托葉痕を残します。葉は長い葉柄を持ち、長さ幅とも 10~15cm、きわめて特徴的で大きく4~6裂し、先端は尖らず、凹型または切り落としたような形をしています。その形が半纏(はんてん)に似ていることから、ハンテンボクとも呼ばれています。花は、6月に開花し、形、大きさともチューリップに似た花が、枝先に単生します。色は、黄緑色で花弁の底に橙色の斑点があって美しいですが、樹上高く、上向きに咲くので下からは見えにくいのです。果実は、円錐形の花托に、鱗片状に多数着き、薄いコルク質の翼をもちます。同属のシナユリノキ(*L. chinense*)は、1875年に中国の江西省で発見されました。葉は、ユリノキよりやや大きく、緑色が濃く、花は小さく、ユリノキほどなじみはありません。



ユリノキは、日本には明治初期にアメリカから渡来しました。新宿御苑に現存するものがその一つといわれています。かつては街路樹や公園樹として使用されていたようですが、現在ではあまり使用されていません。樹勢が強く、巨木になり、樹高を一定の高さに抑える事が困難だからではないかと思います。新宿御苑、小石川植物園、迎賓館前の並木が良く知られています。

札幌では北大植物園、北大構内、大通公園に大木があります。また、札幌の森林総合研究所には、花の写真が撮れる高さまで枝が低く垂れ下がった樹があるそうです。街路樹では、西税務署周辺の道路に立派に育った樹が6本(1本はすでに葉を少し残すだけ)残っていますが、突然枯れるなど、必ずしも良い状態とはいえません。北海道では深川あたりまで生育が良好という調査結果があります。しかし、耐寒性、耐雪性はあまり無く、寒風にも弱いので北海道では育ちにくいようです。(T.K.)



百合の木の高きに咲ける花 仰ぐ百合の木の花 うすみどりして (園志比)

10月の園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00～12:00、13:00～16:00

☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日

☆百合が原公園 772-3511 木曜、日曜

☆平岡樹芸センター 883-2891 水曜、土曜

◆山野草の種とり～種まき

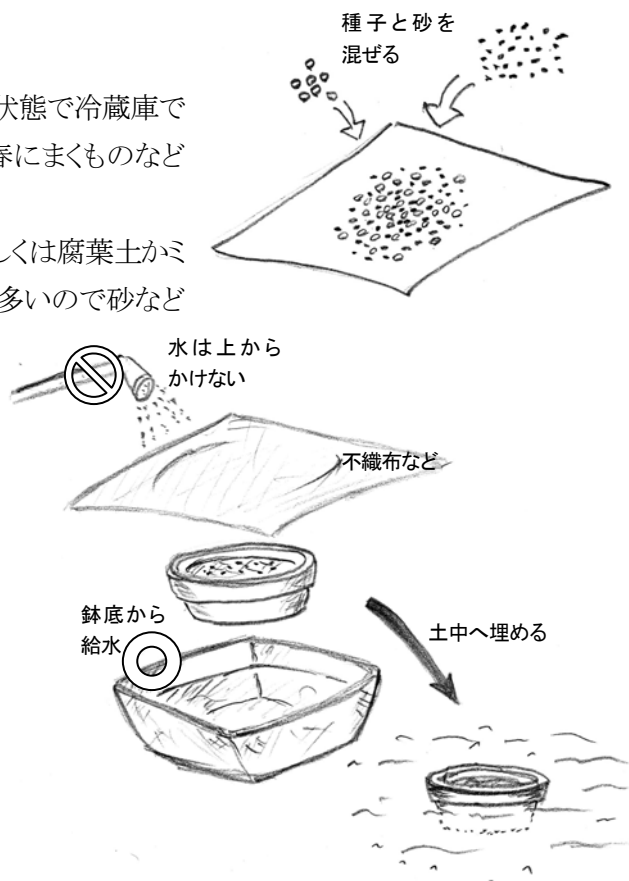
[種とり]

ダイモンジソウ、リンドウ、ノギク、フウチソウなどを除き多くの山野草は花が咲き終わり既に落下しているものもありますが、種子がついているものはこの時期に採取してみましょう。山野草は完熟したものより、やや未熟なものの方が良く発芽する場合がありますので、早めに採種しましょう。

[種まき]

採種後できるだけ早くまく(取りまき)もの、一定期間湿潤状態で冷蔵庫で冷蔵してからまくもの、乾燥させて低温で貯蔵しておき翌春にまくものなどがあります。植物に合ったまき方を覚えましょう。

まき床は 5～6 号浅鉢に用土は小粒の火山レキ単用、もしくは腐葉土かミズゴケを若干混ぜたものを使います。種子は微細なものが多いので砂などと混ぜてむらのないようにまき、軽く覆土するかほうきなどでなでるようにし、不織布などで覆って鉢底から給水します。播種後は鉢が半ば地中に埋まるようにして雪が積もるまで乾かないように時々灌水します。越冬前に発芽するものは不織布を取り除きます。いずれも積雪下で越冬させ翌年の発芽生育開始を待ちます。山野草の中には休眠期間が長く、翌年発芽せず、2 年目に発芽するものもありますので注意が必要です。(ヤマシャクヤクなど)



◆山野草の植え替え

山野草は地植えでも 2～3 年毎、鉢植えのものは毎年植え替えが必要です。植え替えは春、芽吹き前が一般的ですが、球根類や根茎の発達しているものは秋の方が良いようです。

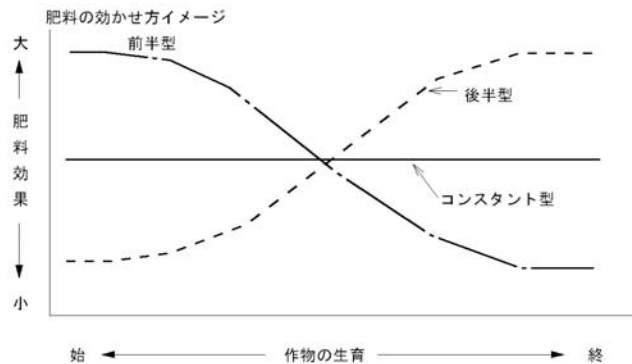
バイカカラマツやイワチドリなど小型球根類は地上部が枯れてしまうと球根の場所が分からなくなりますので、葉が枯れ、茎が立っているうちに掘り上げて植え替えます。オニユリ、ヤマユリなどは葉が枯れたときに掘り取り、下根を傷めないよう(乾かさないう)できるだけ早く植えつけます。シラネアオイは鉢植えではなかなか大きくなりませんが、地植えで肥培すると数年で大株になりますので、茎葉が枯れたら掘り上げ、株を分割して植えます。分割する場合は刃物で切断せず、ドライバーなどを差し込んで根茎を傷めないように割り、傷口が乾いたら殺菌剤を塗布して植えると腐敗を抑えられます。シラネアオイは実生でも増やせますが、開花までに 4～5 年を要します。株分けをマスターして増やしてみましょう。

◆家庭菜園ワンポイントアドバイス ～ チッソ肥料の効かせる時期

作物により肥料の効かせる時期が違います。適切な時期に適量の施肥を行い、おいしくいただきましょう。

いつ頃チッソ肥料が必要か		
肥料要求型	主 な 作 物	施肥方法、作物の反応
前半型	馬鈴薯、コカブ	・基肥主体で収穫時に肥料が無い状態 ・馬鈴薯は収穫まで肥料が効くと、エグ味の強い薯になる
やや前半型	キャベツ、白菜、レタス タマネギ、ブロッコリー、ナガイモ	・施肥量の 2/3～3/4 を基肥に、残りを追肥にする ・キャベツ、白菜は球のまき始め（結球始め）に肥料効果が最大になるようにし、収穫時は少し肥料が効いている状態 ・収穫時肥料が多いと腐れ易くなる
一定型	トマト、キュウリ、ナス、ネギ、セルリー インゲン、エダマメ、ホウレンソウ	・最初から最後まで安定した肥料濃度が必要（数回に分肥） ・果菜類は茎葉と果実のバランスのとれた生育が必要で、肥料のやりすぎは茎葉だけを繁らせる
やや後半型	スイートコーン、エンドウ	・肥料の 1/2 を基肥に残りを追肥にする
後半型	スイカ、カボチャ、メロン、ダイコン ゴボウ、ニンジン	・基肥を 1/3 程度にして追肥で生育させる ・基肥が多いと果実は実を付けにくく、ダイコンは葉が繁り、根部が太らない ・地力のある畑は基肥を極力少なくする

(1996 相馬)



病害虫を知ろう! Part7 ヨトウムシ(ヨトウガ)の巻

《生態と種類》

成虫は灰褐色の蛾で、葉裏に茶色の数百個の卵塊を産みつけます。

幼虫は、1年に2回、6月中旬～8月中旬、8月下旬～10月下旬に発生します。

ヨトウムシに近い仲間には、ハスモンヨトウ、シロイチモンジヨトウなどがいます。これらの形態や性質はヨトウムシに似ていますが、卵塊が灰褐色の鱗毛に覆われています。

他に、スジキリヨトウ、タバコガ、オオタバコガなどがいます。

《被害の状況》

孵化した幼虫は集団で、最初は近くの葉裏をかすり状に、やがて葉を網目状に食べ進みます。成長した幼虫は周辺に散らばり、葉、花、茎などを食べます。

老熟した幼虫は、昼間は植物の根元近くの地中などに潜み、夜は地上に出て植物を食い荒らします。さらに老熟すると土中で越冬し、春に蛹になり、やがて成虫の蛾になります。

幼虫が多発すると、植物は丸坊主にされたりして生育が悪くなる上、草花では観賞価値も損なわれます。

《防除法》

●葉裏の卵や、幼虫の食害痕を早期に発見し、卵や幼虫を見つけ次第捕殺する。

●食害痕と糞があるのに、虫がいない場合は、植物の根元付近の地中などに潜んでいるので、棒などで探し出して処分します。

●殺虫剤による防除も有効です。その場合、幼虫は成長するに従い殺虫剤抵抗性が強まり、防除効果が低下するので、幼虫が小さく集団でいるうちに散布することがきわめて大切です。

(オルトラン水和剤 1000 倍液 アクテリック乳剤 500 倍液 トアロー水和剤 CT 500～1000 倍液
ディプテレックス粉剤 ディプテレックス 10 乳剤 ベニカエーススプレー オルトラン S)

10月～11月上旬の催しのお知らせ

豊平公園緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 011-811-6568

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
園芸教室				
セントポーリアの育て方	10月10日（土）	13:30	9月11日～	無料
冬囲いの仕方	10月24日（土）	〃	10月11日～	無料
シクラメン他冬の鉢花の室内管理	11月7日（土）	〃	〃	無料
家庭でカンタン堆肥作り	11月8日（日）	〃	〃	無料
展示会				
ミニ盆栽展・山草展	10/2（金）～4（日）	札幌草樹会		入場 無料
セントポーリア展	10/6（火）～12（月）	北海道セントポーリア愛好会		
秋の風流盆栽展 ～小品盆栽会展～	10/9（金）～11（日）	札幌小品盆栽会		
さつき 秋季展	10/14（水）～18（日）	札幌さつき会		
菊花展	10/27（火）～11/1（日）	札幌菊花同好会		
洋ラン展	11/17（火）～23（月）	北海道蘭友会		
自然観察教室				
秋の観察会	10月18日（日）	10:00	10月11日～	100円
クラフト講習会				
いろんな葉の押し方と葉額作り	10月16日（金）～ 全4回	10:00	10月11日～	6,000円＋教材費
あけび工房 ふじづるとあけびのツリー	10月31日（土）	10:00	〃	2,000円
押し花で年賀状	11月20日（金）	10:00	11月11日～	1,500円
コチョウラン植え替えサービス day	11月20日（金）	お客様の家庭のコチョウランを、緑の相談員が植え替え実演しながら、解説いたします。 11月11日から電話でご予約を承ります。 (参加費：材料費実費のみ)		

百合が原緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 011-772-3511 <http://www.sapporo-park.or.jp/yuri/>

園芸教室	日	時間	申込受付開始	参加費
実践！落ち葉の堆肥づくり	10月10日（土）	10:30	9月11日～	130円
バラの冬囲い	10月11日（日）	13:30	〃	〃
樹木の冬囲い	10月24日（土）	10:30	10月11日～	〃
展示会	日		料金	
盆栽・オモト展	10/2（金）～4（日）		入館料 130円	
秋の花と実展	10/6（火）～11/1（日）		〃	

平岡樹芸センター 清田区平岡4条3丁目 TEL 011-883-2891

講習会 内容	日	時間	申込開始	費用・備考
果樹の整枝剪定	10月12日(月)	10:00 13:30	9月11日～	300円
樹木の冬囲い	10月18日(日)	10:00	10月11日～	〃
フジ・ブドウの剪定	10月25日(日)	10:00 13:30	〃	〃
クラフト講習会				
紅葉で作るしおりとブックカバー	10月18日(日)	13:00	10月11日～	1,500円
ふじづるのバスケット	10月24日(土)	10:30	〃	2,000円
紅葉で作るしおりとブックカバー	10月31日(土)	13:00	〃	1,500円
クリスマスからお正月まで楽しめるアレンジ	11月5日(木)	10:00	〃	2,500円

豊平公園 緑のセンター 公式ウェブサイト <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

※「緑のセンターだより」バックナンバー公開中 ※